

Brand Guidelines

Update 2025.09 / 第2版

Overview

ガイドライン概要



本ガイドラインは、
株式会社医学生物学研究所の企業イメージや
ブランドイメージを視覚的に形成するための VI システムです。

VI システムの核となるデザイン要素は、「シンボルマーク」と「社名ロゴタイプ」です。
これらの要素を中心に、アイソレーション、カラー、書体などのルールを定め、
体系化しています。

統一した企業イメージやブランドイメージを形成するため、
本ガイドラインを参照し正しい利用をお願いします。

Symbol Mark

モチーフの意味

2024 年に改訂されたシンボルマークは、当社の企業理念と目指す姿を表現しています。

ウェーブライン（オレンジの波）は、滑らかな曲線とクリーンなラインで、優しさと最先端、社会から信頼される誠実な企業を表現しています。

交わり組み合わせるラインは、社員・組織がチャレンジ精神とチームワークを発揮している企業風土、そしてすべてのステークホルダーと密接なコミュニケーションをとる姿勢を示しています。

これらの要素が一体となって、「革新的な技術で人々の健康と医療の発展に貢献していきたい」という当社の強い想いを表しています。



角のない滑らかな曲線により優しさを示し、社会から信頼される誠実な企業を表現

曲線の組み合わせは、お互いの手が重なり合う様子を示し、社員・組織がチャレンジ精神とチームワークを発揮している企業風土やすべてのステークホルダーと密接なコミュニケーションをとる姿勢を表現

曲線の先を鋭くすることで最先端を示し、技術、品質を磨き続ける様子を表現

Logo Mark

ロゴマークのバリエーション（カラー）

当社のロゴマークは、シンボルマークと社名ロゴタイプの組み合わせで構成され、シンボルマーク単体と、社名ロゴタイプを組み合わせた3種類のバリエーションが規定されています。

規定の3種類を自由に選択できますが、社名ロゴタイプを含めたロゴマークを必ず1箇所以上に使用してください。

定められたカラー以外の使用はできません。常にオリジナルのロゴファイルの中のものを使用し、変形・加工・改変は禁止されています。

シンボルマーク単体



シンボルマーク + 社名ロゴタイプ



Logo Mark

ロゴマークのバリエーション（単色）

印刷に制約がある場合や視認性を確保する必要がある場合、主催者側のルールに則る必要がある場合に限り、モノクロの使用が認められています。

シンボルマーク単体



シンボルマーク + 社名ロゴタイプ



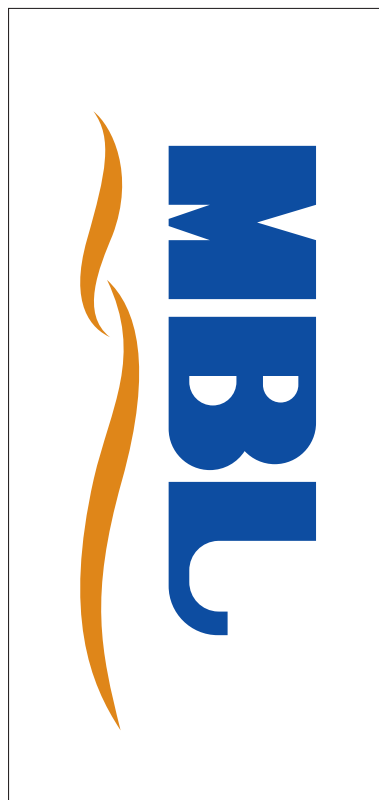
Vertical Use

縦に利用する場合

基本的にロゴマークの回転は認めていません。
印刷に制約がある場合や主催者側のルールに則る必要がある場合のみ、使用が認められます。

ロゴマークを縦型で使用する場合は、横組を右に90度回転させてください。

縦型として使用できるロゴマークは、右記に掲載されている組み合わせのみに限ります。



Isolation

シンボルマーク周りの余白

象徴性と訴求効果を高めるため、ロゴマークの周囲に適切なアイソレーションエリア（余白）を設けています。

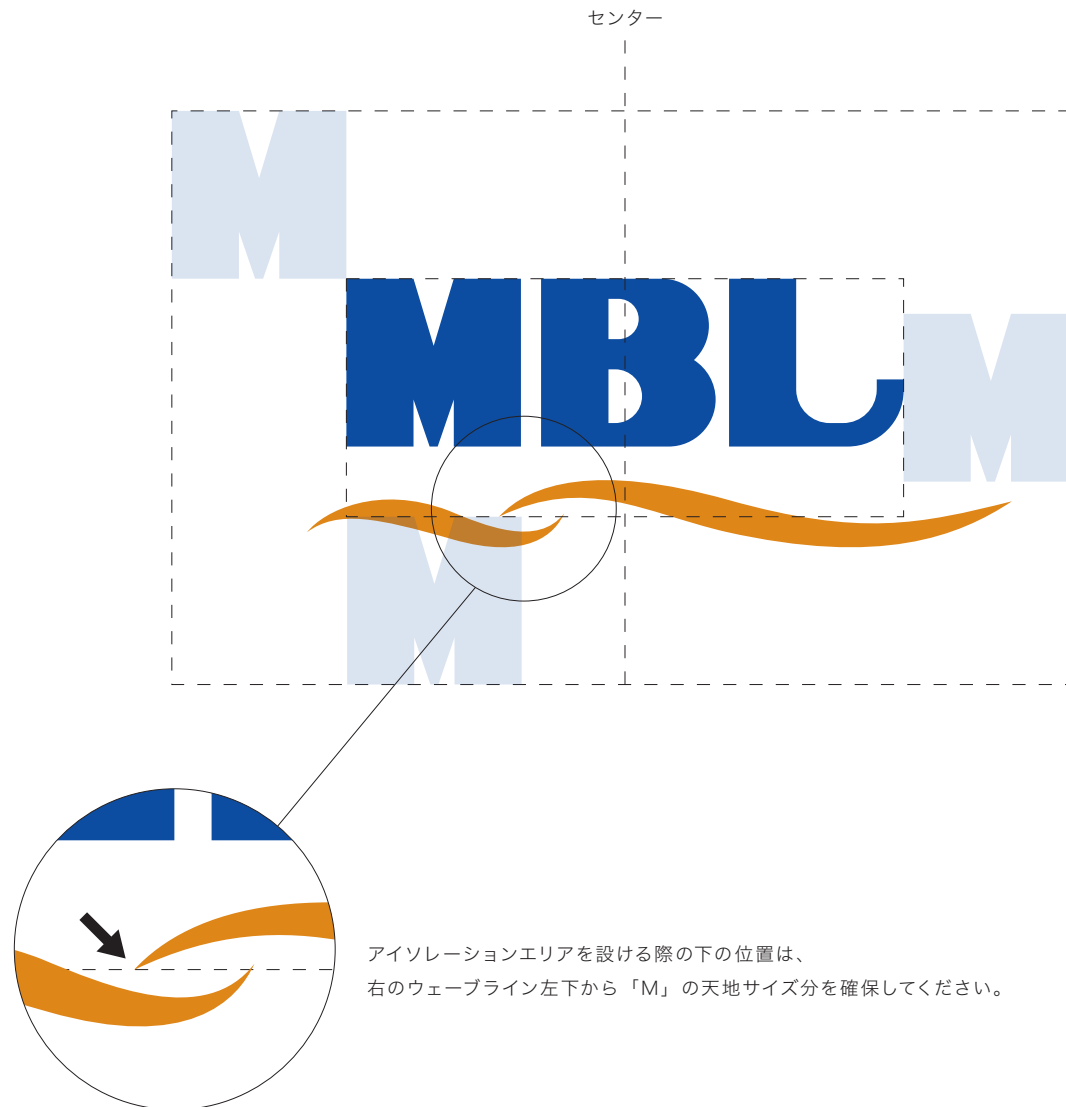
アイソレーションエリア内には、他の要素を表示することを禁止します。

表記したのは、最小限の保護エリアです。表示にあたっては可能な限り大きな余白スペースを設け、余裕をもって配置してください。

ただし、主催者側のルールに従う必要がある場合は、この限りではありません。

シンボルマークのセンタリングは、モチーフのウェーブライン（オレンジの波）を除く MBL の文字のセンタリングを基準としてレイアウトしてください。

ベースラインは、ウェーブラインが重なり合う点を利用します。



Isolation

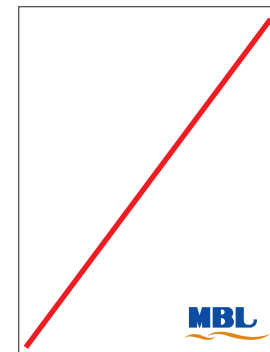
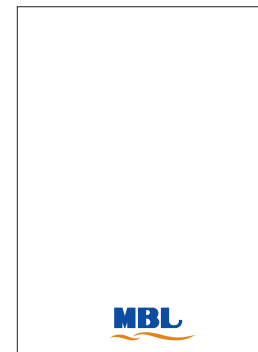
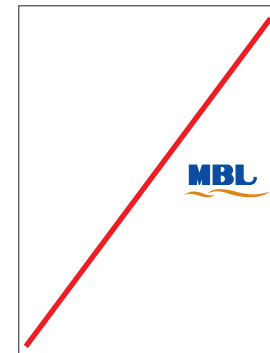
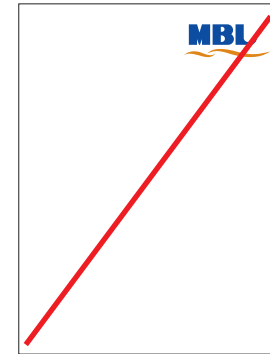
ロゴマーク周りの余白



Layout

ロゴマークの位置

ロゴマークの配置は、基本的には左上です。
左上が不自然に見える場合は、中心、中央、
下に配置することも可能ですが、右側（右寄せ）
への設置は、原則禁止です。
ただし、主催者側のルールに従う必要がある
場合は、この限りではありません。



Minimum Size

最小サイズ

可読性と視認性を考慮し、最小使用サイズを規定しています。

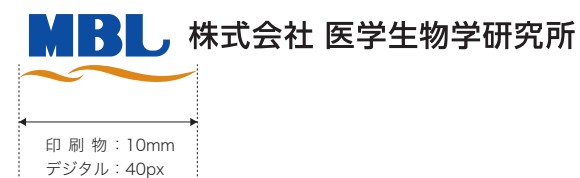
最小サイズより小さいサイズでの使用はできません。

ただし、展開物のルールに従う必要がある場合は、この限りではありません。

シンボルマーク単体



シンボルマーク + 社名ロゴタイプ



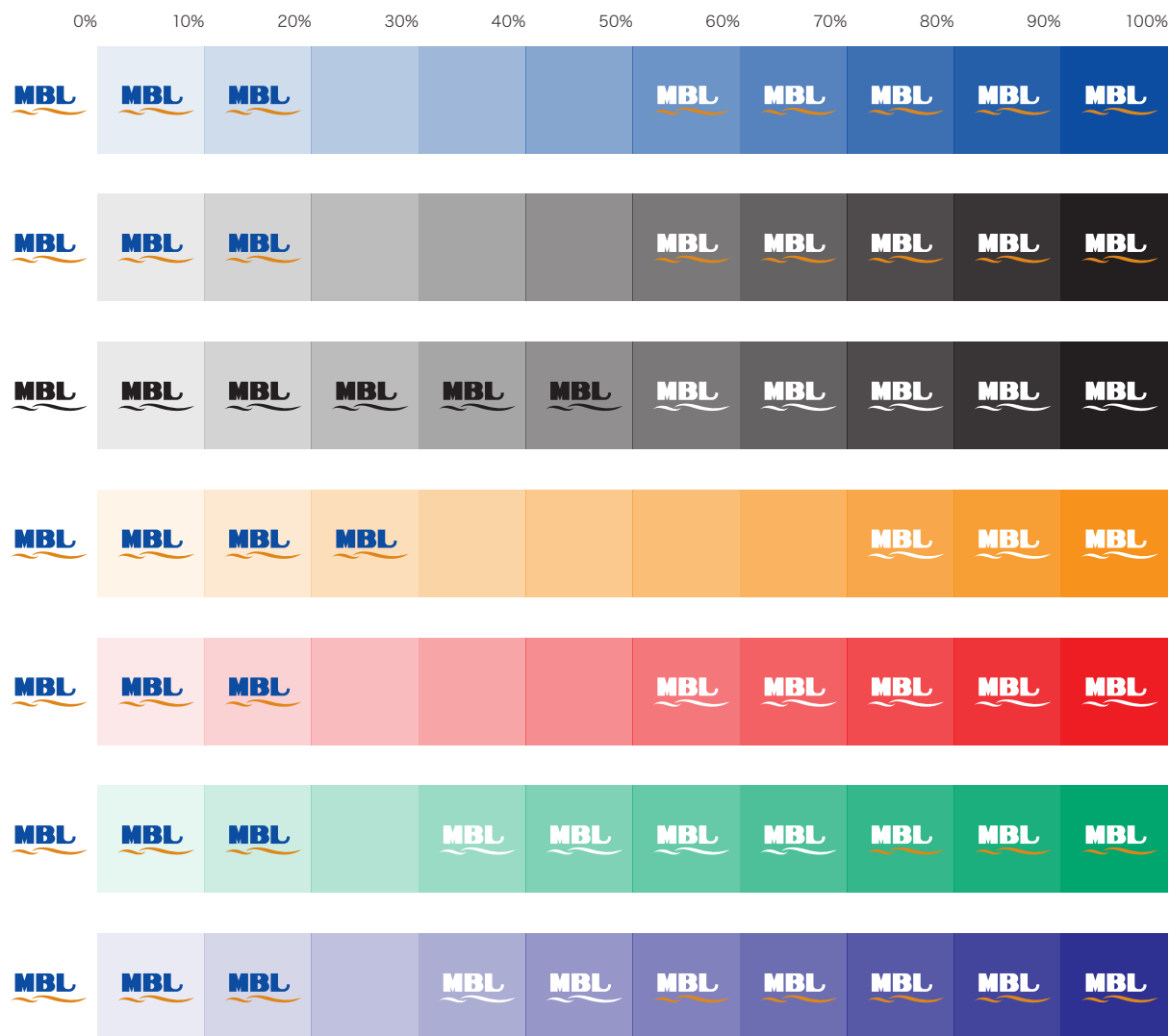
Color System

カラーシステム

シンボルマークと社名ロゴタイプの背景色は、白地を原則としています。

ただし、表示の特性や表現上の制約により白地の使用が難しい場合は、右記の背景濃度レベルを参考にして視認性の良い表現を心がけてください。

なお、白色のインキのない印刷機で印刷する場合は、白地を使用してください。



Logo on Backgrounds

背景処理

背景との関係において、著しく視認性を妨げる組み合わせ及びレイアウトは禁止しています。右記の例を参考にして、常に明瞭な表示を心がけてください。

表示色と背景色の関係は、紙質やインク濃度などによって異なるため、常に視認性の良い表現を心がけてください。



Logo Misuse

禁止事項

当社が提供するすべてのロゴデータは、データの変形・加工・改変をせず、そのまま使用することを原則とします。

ロゴマークは、正しく使用されることによってはじめて本来の機能を発揮し、当社のイメージを正しく伝達することができます。右記のような誤った使用は避けてください。

ここではシンボルマークで示していますが、すべてのロゴマークにおいて共通の禁止事項です。



回転させない



変形させない



色を変えない



パーツごとの比率を変えない



パーツを動かさない



影や効果を付けない



フチを付けない



書体を変えない



文字間を変えない

Brand Color

ブランドカラー

ブランドの正式カラーは右記の通りです。

これらのブランドカラーを様々な展開の中で一貫して使用することにより、色彩面からMBLブランドのイメージを形成しています。

ただし、表現上の制約により正式カラーの再現が不可能な場合は、右記を参考にして近似色を作成してください。

MBL Blue

CMYK: C 100 / M 80 / Y 0 / K 0
RGB: R 0 / G 64 / B 152
PANTONE: 661 C
DIC:184
HEX: #004098

100%

75%

50%

25%

MBL Orange

CMYK: C 0 / M 50 / Y 100 / K 10
RGB: R 228 / G 142 / B 0
PANTONE: 144 C
DIC:204
HEX: #E48E00

100%

75%

50%

25%

Logo Color

ロゴマークのカラー

ロゴマークの正式カラーは右記の通りです。
ロゴマークを表示する各種媒体やアイテムでは、可能な限り正式カラーを再現してください。
ただし、表現上の制約により正式カラーの再現が不可能な場合は、右記を参考にして近似色を作成してください。



MBL Blue

CMYK: C 100 / M 80 / Y 0 / K 0
RGB: R 0 / G 64 / B 152
PANTONE: 661 C
DIC:184
HEX: #004098

MBL Black

CMYK: C 0 / M 0 / Y 0 / K 100
RGB: R 24 / G 24 / B 24
PANTONE: Black C
DIC:582
HEX: #181818

MBL Orange

CMYK: C 0 / M 50 / Y 100 / K 10
RGB: R 228 / G 142 / B 0
PANTONE: 144 C
DIC:204
HEX: #E48E00

Typography

推奨書体

広告や印刷物などを制作する際には、主要な文字情報について推奨書体を選定しています。

アイテム全体に統一感をもたせ、効果的なコミュニケーションを図るためにも、右記の推奨書体を優先的に使用してください。

ただし、広告表現や目的、アイテムの特性等によって推奨書体が適さない場合は、他の書体を使用することも可能です。

和文書体

ヒラギノ角ゴ ProN W2

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。山路を登りながら、こう考えた。

ヒラギノ角ゴ ProN W4

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。山路を登りながら、こう考えた。

ヒラギノ角ゴ ProN W6

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。山路を登りながら、こう考えた。

欧文・数字書体

Helvetica Light

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. 1234567890!@#\$%^&*()<>?/

Helvetica Regular

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. 1234567890!@#\$%^&*()<>?/

Helvetica Bold

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. 1234567890!@#\$%^&*()<>?/

Pictograms

ピクトグラム

ピクトグラムは、サービスや必要なアクションがひと目でわかるように視覚的に表現した図記号です。

Web サイトや印刷物などにおいて一貫性のあるピクトグラムを使用することで、ユーザーエクスペリエンスを向上させ、伝えたいメッセージを明確にします。

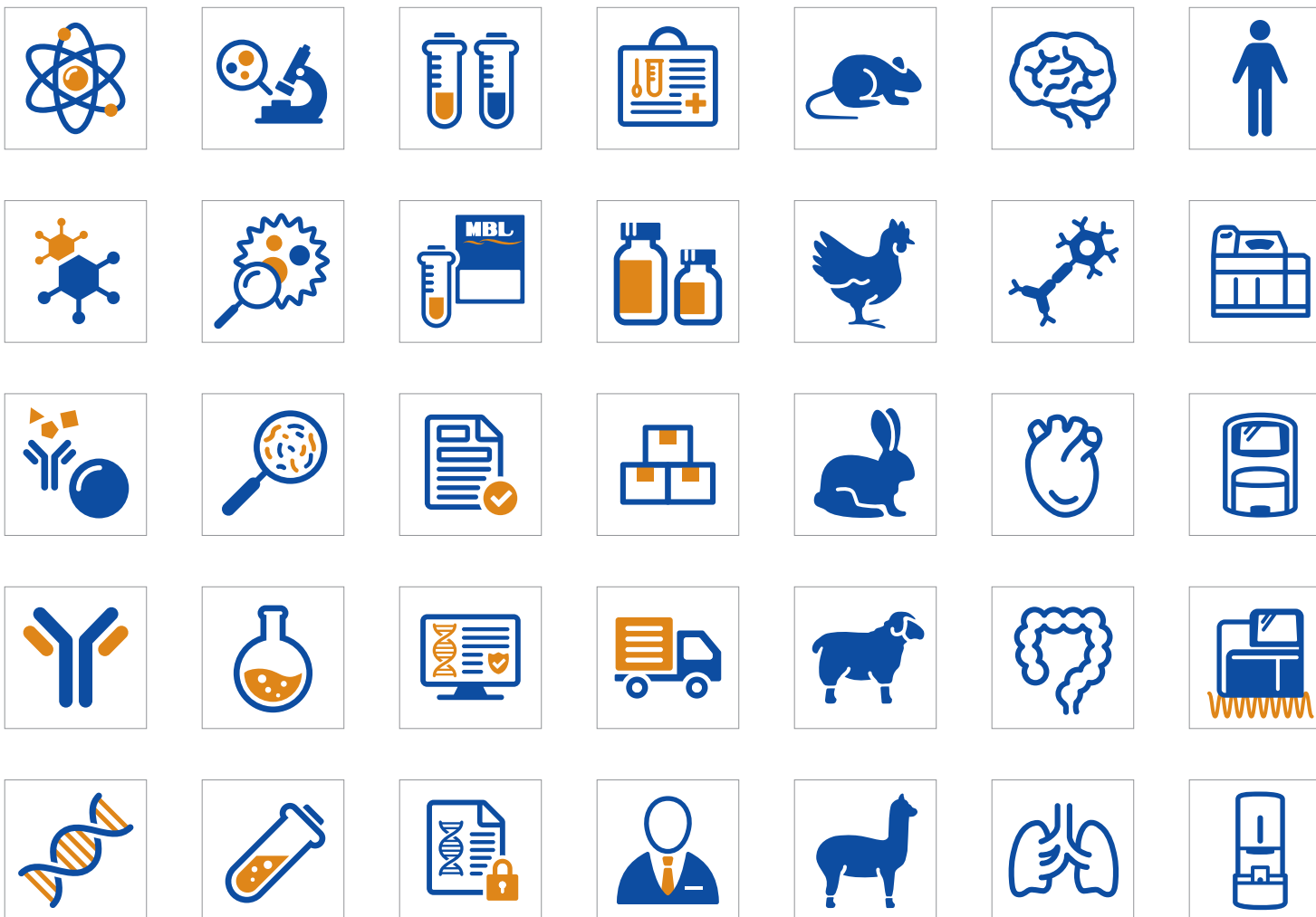
ピクトグラムを作成する際は、以下の点を考慮してください。

- 情報を詰め込まず、わかりやすいデザインにしてください。
- 色は MBL Blue と MBL Orange を使用してください。
- 細い線は使わず、サンプルの太さにあわせて統一感を持たせてください。
- ディテールを崩さない範囲で、角は丸くさせてください。



Pictograms

ピクトグラム

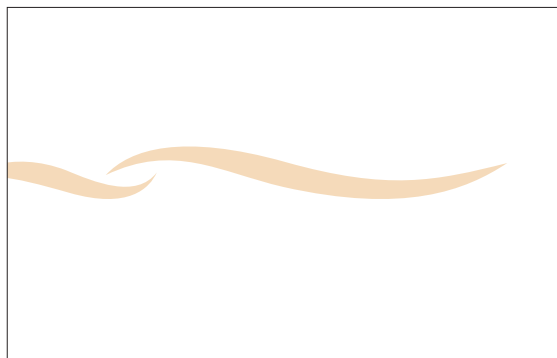


Wave Line

ウェーブラインの活用

広告や印刷物などのアイデンティティを高めるために、ウェーブラインを独立して使用できます。背景などに大胆に使用することを想定しており、背景色は白地を原則としています。

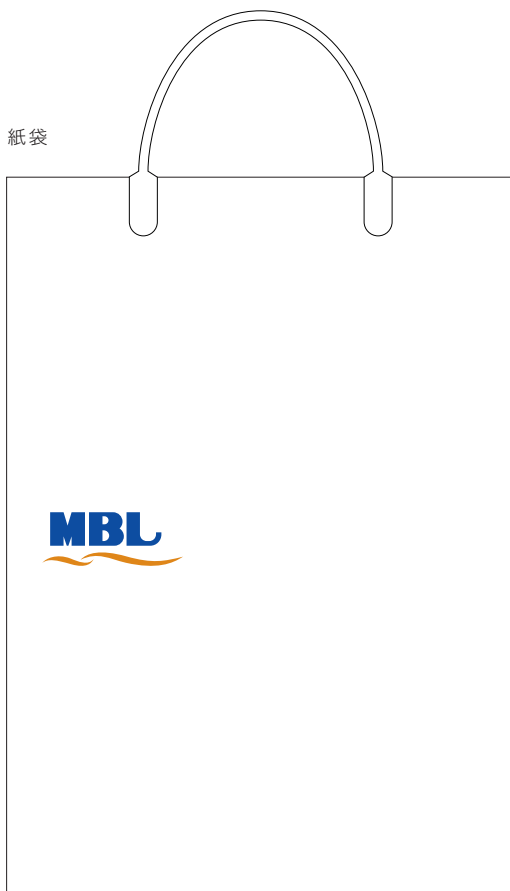
ウェーブラインのみを背景に利用する場合に限り、ウェーブラインの透過処理をすることができます。コンテンツの視認性が落ちないように注意してください。



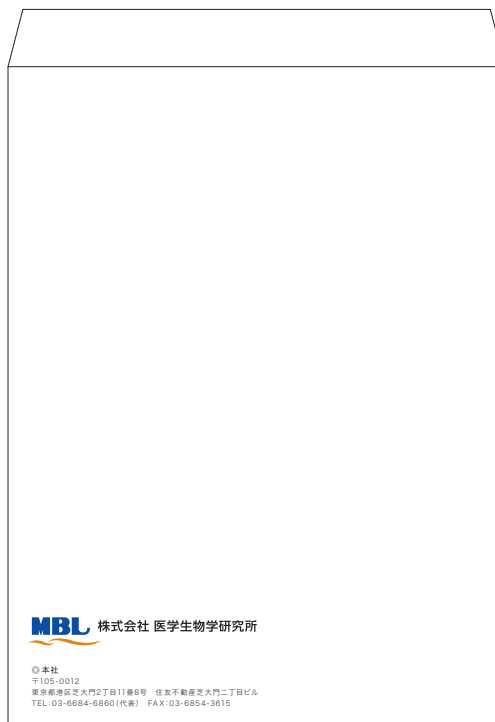
Usage Example

ロゴの利用例

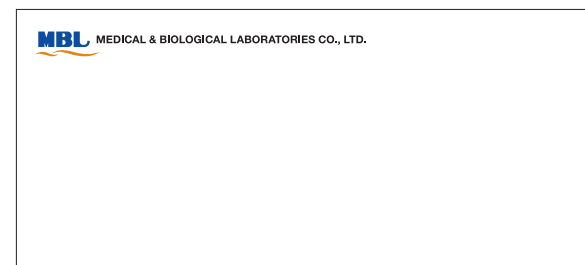
紙袋



封筒



洋封筒



Usage Example

ロゴの利用例

パンフレット



研究用



株式会社 医学生物学研究所

〇本社

〒105-0012

東京都港区芝大門2丁目1番6号 住友不動産芝大門二丁目ビル

TEL: 03-6554-6860(代表) FAX: 03-6554-3615

プレスリリース用レターヘッド



株式会社 医学生物学研究所

〇本社

〒105-0012

東京都港区芝大門2丁目1番6号 住友不動産芝大門二丁目ビル

TEL: 03-6554-6860(代表) FAX: 03-6554-3615



MEDICAL & BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD.

SHIMOTOHO FUDOSAN BISHAKUMON NICHOME BLDG.

2-1-1 SHIMOTOHO, MINATO-KU, TOKYO 105-0012, JAPAN

TEL: +81-3-6554-6860 FAX: +81-3-6554-3615

使用条件

1. 株式会社医学生物学研究所(以下、「当社」という)のロゴマーク及びシンボルマーク(以下あわせて「本シンボル」といいます)の使用を希望する者(以下「使用者」といいます)は、本シンボルの使用にあたり、本ガイドラインに同意したものとみなされます。また、本ガイドライン変更後も当社のロゴを使用し続けることにより、変更後のガイドラインに同意をしたものとみなされます。
2. 使用者は、本シンボルの使用に際し、当社のブランド価値および信用等を傷つけ、または毀損してはなりません。
3. 使用者は、本シンボルを変更、修正もしくは改変し、または本シンボルと類似のシンボルを創作してはならず、本シンボルを文章または使用者の商品の中で使用してはなりません。
4. 使用者は、必要な範囲を超えて、本シンボルを複写または複製してはなりません。また、使用者は、複写または複製したシンボルを本シンボルと同様に取り扱わなければなりません。
5. 使用者は、本シンボルを第三者に譲渡し、転貸し、または使用させてはなりません。
6. 使用者は、本シンボルが本ガイドラインに従って適切に使用されるよう、使用者の役員及び従業員に本ガイドラインの周知および教育を行う等の措置を使用者の費用負担によって講じなければなりません。
7. 本シンボルの所有権および知的財産権は当社が有するものとし、使用者は、本シンボルに関し何らの権利も主張してはなりません。また、本シンボルの所有権または知的財産権が第三者により侵害されもしくはそのおそれがある場合、使用者は直ちに当社にその旨を通知しなければなりません。
8. 使用者は、当社の要求がある場合、本シンボル(複製物、複写物、試作品サンプルおよび本シンボルが付された文書を含みますがこれに限られません)の使用を直ちに止め、当社の指示に基づき本シンボルを返却または破棄もしくは消去しなければなりません。
9. 当社は、使用者による本シンボルの使用に関連し、またはその結果として使用者に生じた不利益または損害について、何らの責任を負いません。

本ガイドラインの内容について不明な点がある場合は、下記までご連絡ください。

pr@mbl.co.jp

本ガイドラインに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。

当社に相談なく、本ガイドラインに反する利用があった場合は、その利用の変更を求める場合があります。

株式会社医学生物学研究所 ブランドガイドライン

発行 2025 年 9 月